

保活ワンストッププロジェクト 第1回 運営会議

令和7年9月12日（金） 15：00～16：30

- 1 開会・出席者紹介
- 2 主催者挨拶 (東京都)
- 3 開催趣旨・事業概要説明 (東京都)
- 4 運用状況の共有 (東京都)
- 5 効果測定の実施について (東京都)
- 6 新規機能の開発について (GovTech東京・東京都)
- 7 閉会

1 開会・出席者紹介

出席者一覧

区分等		職名等	委員
委員	事業実施主体	東京都デジタルサービス局 プロジェクト推進担当部長	福田 厳
		一般財団法人GovTech東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長	土田 文紹
	連携自治体 代表	板橋区子ども家庭部保育サービス課長	森 弘
		江東区こども未来部保育支援課長	神山 大輔
		八王子市子ども家庭部保育幼稚園課長	斉藤 宏
	参加保育施設 代表	私立栄町保育園園長	伊藤 賢
		江東区立森下保育園園長	鶴見 喜美子
		八王子市立みなみ野保育園園長	田中 美香
	関係府省等	こども家庭庁成育局 保育政策課長	栗原 正明
オブザーバー	事業者団体	一般社団法人こどもDX推進協会 理事	土岐 泰之
	関係府省等	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官	岡井 隼人
その他の 参加者	事業実施 関係事業者	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	
		BABYJOB株式会社	
		株式会社コドモン	
		ユニファ株式会社	
		日本ソフト開発株式会社	
		株式会社エクシオジャパン	
		株式会社両備システムズ	
事務局	東京都デジタルサービス局 デジタル戦略部 デジタル企画調整課		
	一般財団法人GovTech東京 デジタル戦略本部		

2 主催者挨拶

3 開催趣旨・事業概要説明

令和7年度 保活ワンストッププロジェクト運営会議について

設置目的

- ・保活ワンストップサービスの運用や新規機能の実装にあたり、関係者間で事業運営状況や課題を共有し、より良いサービスにつなげる
- ・本取組が令和8年度中に国のシステムへ移行することを見据え、都における取組成果を国と共有し、サービスの円滑な移行につなげる

構成員

委員：事業実施主体（東京都、GovTech東京）、連携自治体・参加保育施設、関係府省等（こども家庭庁）の代表者
オブザーバー：事業者団体、関係府省等（内閣官房デジタル行財政改革会議事務局）の代表者
その他関係者：実施事業者（保活情報連携基盤・民間保活サイト・保育ICT）

開催時期・議題（予定）

	第1回	第2回	第3回
開催時期	9月12日（ハイブリッド）	12月（ハイブリッド）	3月（書面開催）
議題	・運用状況を共有（8月末時点） ・既存機能の効果測定実施案を共有 ・新規機能の開発について共有	・運用状況を共有（11月末時点） ・既存機能の効果測定の結果について共有 ・新規機能の運用・開発状況について共有 ・移行に向けた情報共有	・最終的な運用状況、効果検証結果をまとめたR7報告書の共有

（参考）マイルストーン

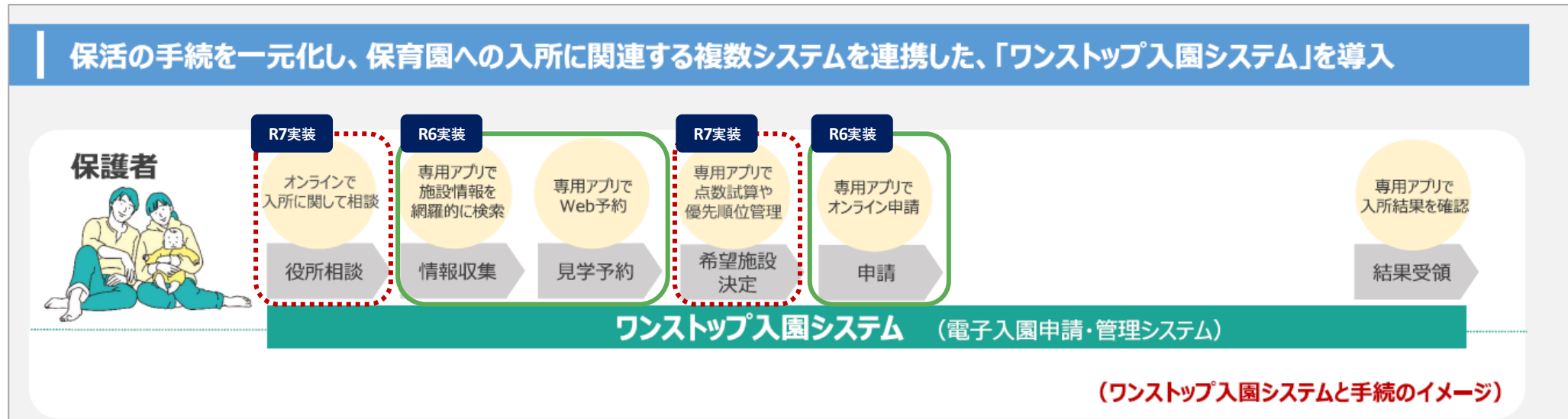
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存機能	19自治体リリース★			運用・効果測定					
保活オンライン相談機能			開発・ユーザーテスト		リリース★	運用・効果測定			
指数シミュレーション機能				開発・ユーザーテスト			リリース★	運用・効果測定	
									報告書

保活ワンストッププロジェクトとは

保育園探しから見学予約・入園申請といった”保活”に関する手続きを、ワンストップで実現することで、保護者や保育施設等の負担軽減を目指すプロジェクト

※国のデジタル田園都市国家構想交付金 TYPES採択事業として全国での活用を見据えて実施

< 保活に関する手続 >



▲ 「[シン・トセイ4 都政の構造改革QOSアップグレード戦略 version up 2024](#)」より抜粋

- 保活に関する手続きのうち、令和6年度は「保育園に関する情報収集」・「見学予約」・「入園申請」の一連の手続きを、保護者のスマートフォンなどでワンストップで完結できるようにすることで、保活ワンストップを実現した
- 令和7年度には、見学予約申請の自動承認や受付期限設定などの機能改善に加え、保活に関するオンライン相談や希望施設の決定に資する指数シミュレーション機能についても追加実装することで、さらなる負担軽減や利便性の向上を目指す

保活ワンストッププロジェクトとは

- 令和6年度は3区市126園が参加。令和7年度は7月17日から19区市1,070園に拡大してサービス提供。9月16日から更に拡大予定

令和6年度

- 連携自治体（3自治体）
板橋区、足立区、調布市
- 参加保育施設
126園（10月31日～）

令和7年度

- 連携自治体（19自治体）
港区、江東区、渋谷区、杉並区、板橋区、足立区、江戸川区、八王子市、青梅市、昭島市、調布市、町田市、日野市、狛江市、東大和市、清瀬市、武蔵村山市、多摩市、西東京市
(下線は7年度からの参加自治体)
- 参加保育施設
1,070園（7月17日～）

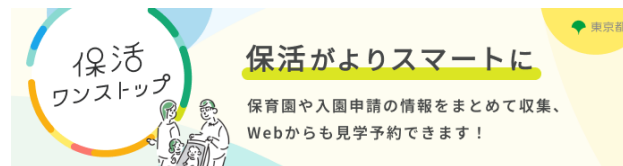
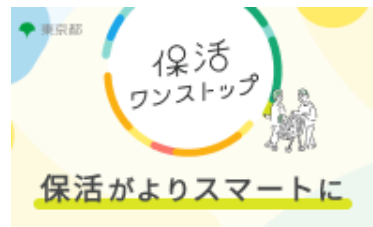
- 以下の広報資材も活用して、連携自治体の保活中の保護者に周知

PRロゴ



ほっとした時に出るため息をモチーフに保護者、保育園、自治体が緩やかにつながり安心できる関係性を築く様子を表現。保活における不安やストレスを軽減し子育てしやすい環境をつくっていくという想いを込めています。

バナー

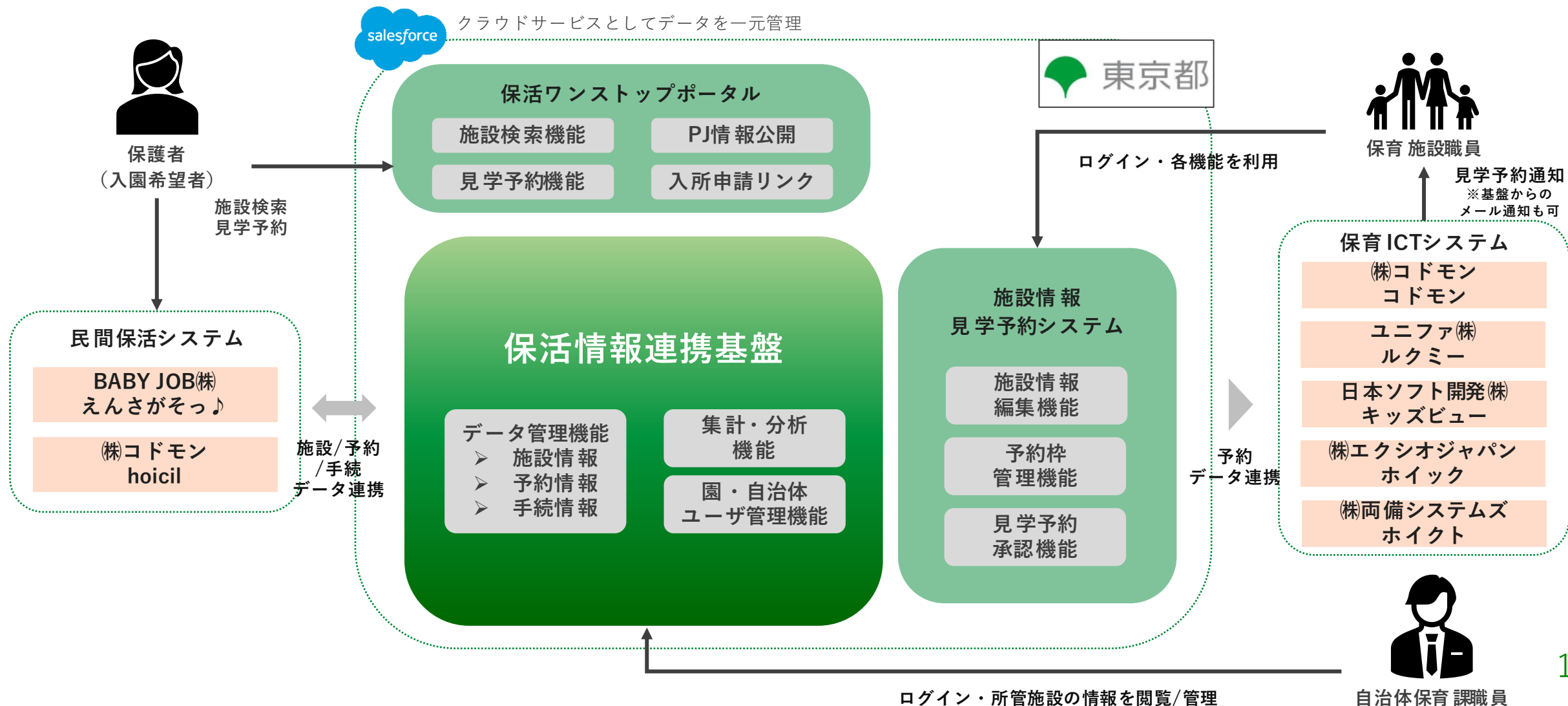


チラシ



システム概要

保活情報連携基盤に施設/手続/予約情報などのデータを一元管理し、民間保活システム・保育ICTの各システム間でリアルタイムでデータ連携することで、各利用者の利便性向上を図るサービスを提供



(参考) 令和6年度実績及び効果測定結果

令和6年度は板橋区・足立区・調布市の126園を対象に運用開始。TYPES事業要件として示されたKPIを測定した結果、保育施設・保護者ともに満足度は高く、保活の所要時間がサービスの利用前後で半減した保護者も多数

運用実績（令和6年10月31日～令和7年3月31日）

オンライン見学予約数

541件

ユーザー数

328

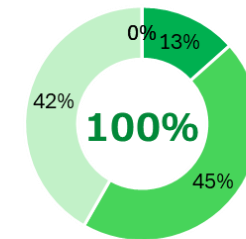
<参加保育施設KPI>

- 5段階評価で平均3.8、3以上が100%の高評価
- 見学予約機能等に関する満足度は平均4.0、評価3以上が95%以上の高評価
- オンライン申請率は43%にとどまり、一層の広報・周知が必要

保活ワンストップサービスの満足度

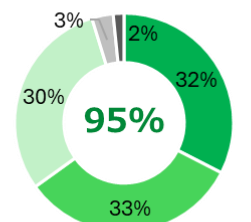
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

プロジェクト全体



平均満足度 3.8

施設見学予約の承認機能



4.0

<参加ユーザー（保活中の保護者）KPI>

- 保活ワンストップサービスを利用した場合の保活体験全体の満足度は、5段階評価で平均4.3、3以上が98%の高評価
- 特に、施設見学予約は電話と比較した効率性や操作のわかりやすさの点で高評価
- 保活の平均的な所要時間は、①役所相談(10h)、②保活情報収集(7h)、③見学予約(1h)、④見学(5h)、⑤希望施設決定(3h)、⑥申請書類作成(5h)の合計約31時間程度といわれる

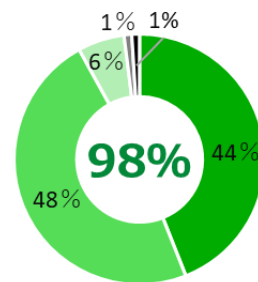
※（一社）こどもDX推進協会調べ

- 保活ワンストップを利用した場合、①～⑥の所要時間は、81%の人が15時間以下と回答

保活ワンストップサービスを利用した満足度

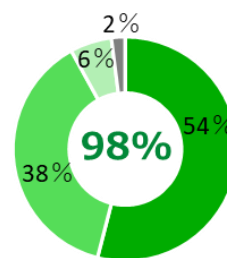
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

保活体験全体



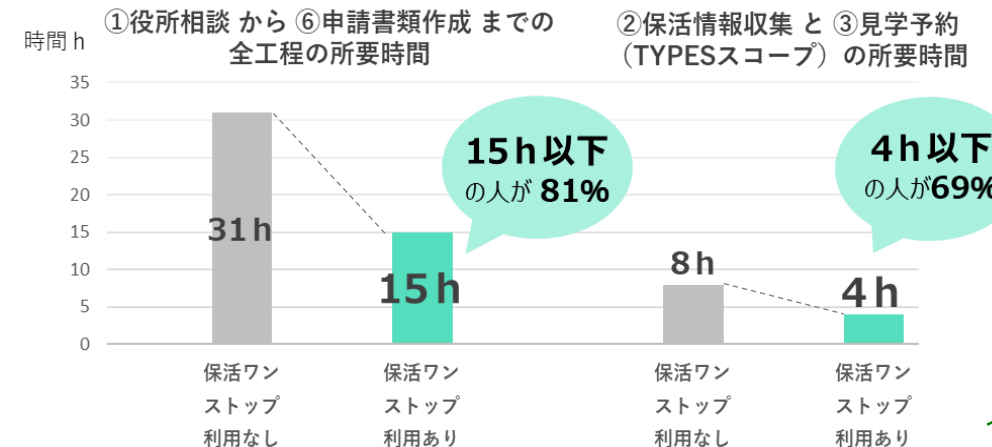
平均満足度 4.3

施設見学予約



4.5

保活ワンストップサービスを利用した所要時間



4 運用状況の共有

(1) 機能改善について【見学予約申請の自動承認設定】

保育施設職員の予約審査に関する負担軽減を図るとともに、スムーズな予約の確定が行えるよう、
見学予約申請を自動で承認する機能を追加

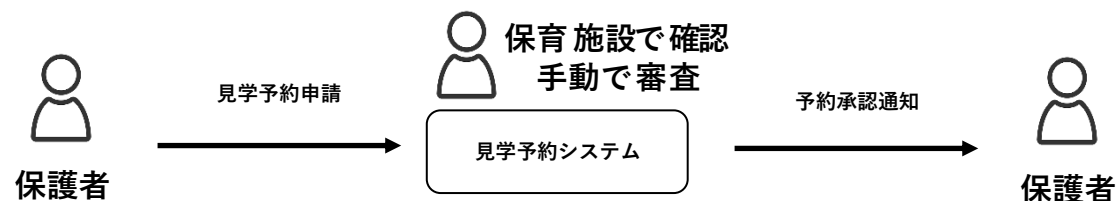
課題

- ・ 見学予約申請を手動で審査し承認するため、新たに予約審査に関する負担が生じている
- ・ 保育施設での承認を待たないと、予約が確定しない（承認待ちの時間が発生）

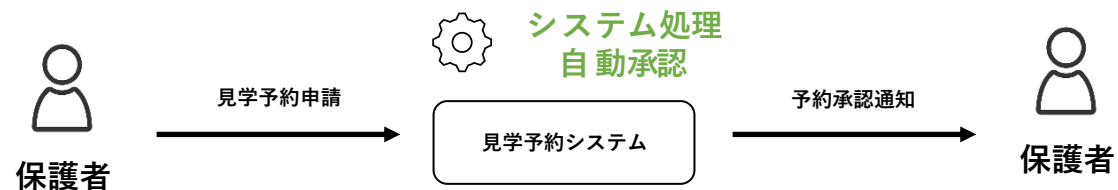
改善

- ・ 見学予約申請をシステムが自動で承認する機能を追加
- ・ 保育施設ごとに機能のON/OFFを選択可能

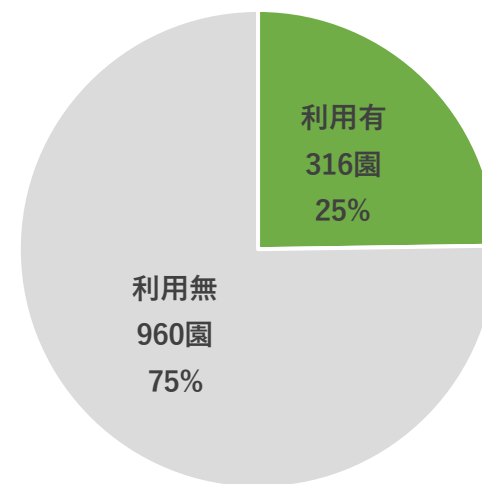
機能 OFF



機能 ON



自動承認機能利用施設割合



令和7年9月8日時点(9月追加参加施設の設定を含む)

(1) 機能改善について【見学予約申請の受付期限設定】

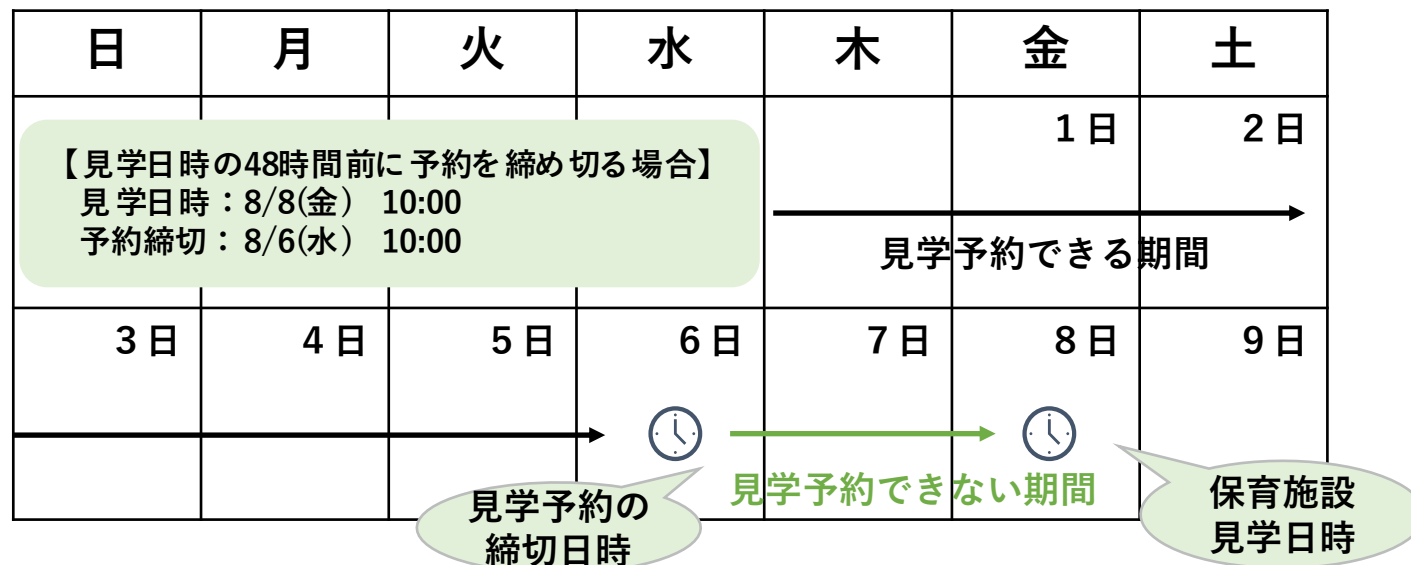
保育施設と保護者の双方が、安心して見学を実施することができるよう、
保護者からの見学予約申請を受け付ける期限をあらかじめ設定できる機能を追加

課題

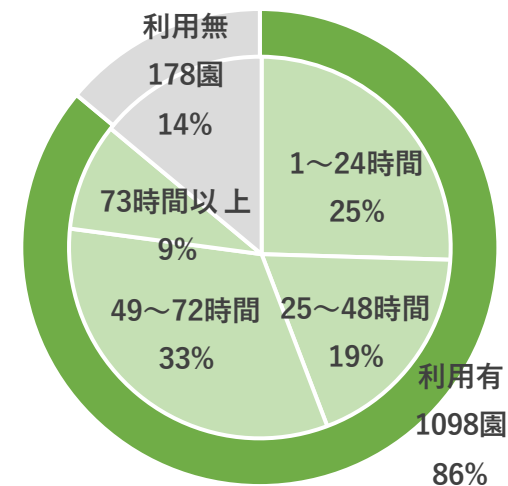
- ・ 見学時間の直前でも見学予約申請が可能のため、保護者の利便性は高い一方で、保育施設職員が申請を見逃し、園見学が実施できないリスクがある
- ・ 直前まで見学予定者が確定せず、保育施設で十分な準備を行うことができない

改善

- ・ 見学予約申請を受け付ける期限をあらかじめ保育施設で設定できる機能を追加



受付期限機能利用施設割合



令和7年9月8日時点(9月追加参加施設の設定を含む)

(2) 運用状況【見学予約申請の実績】

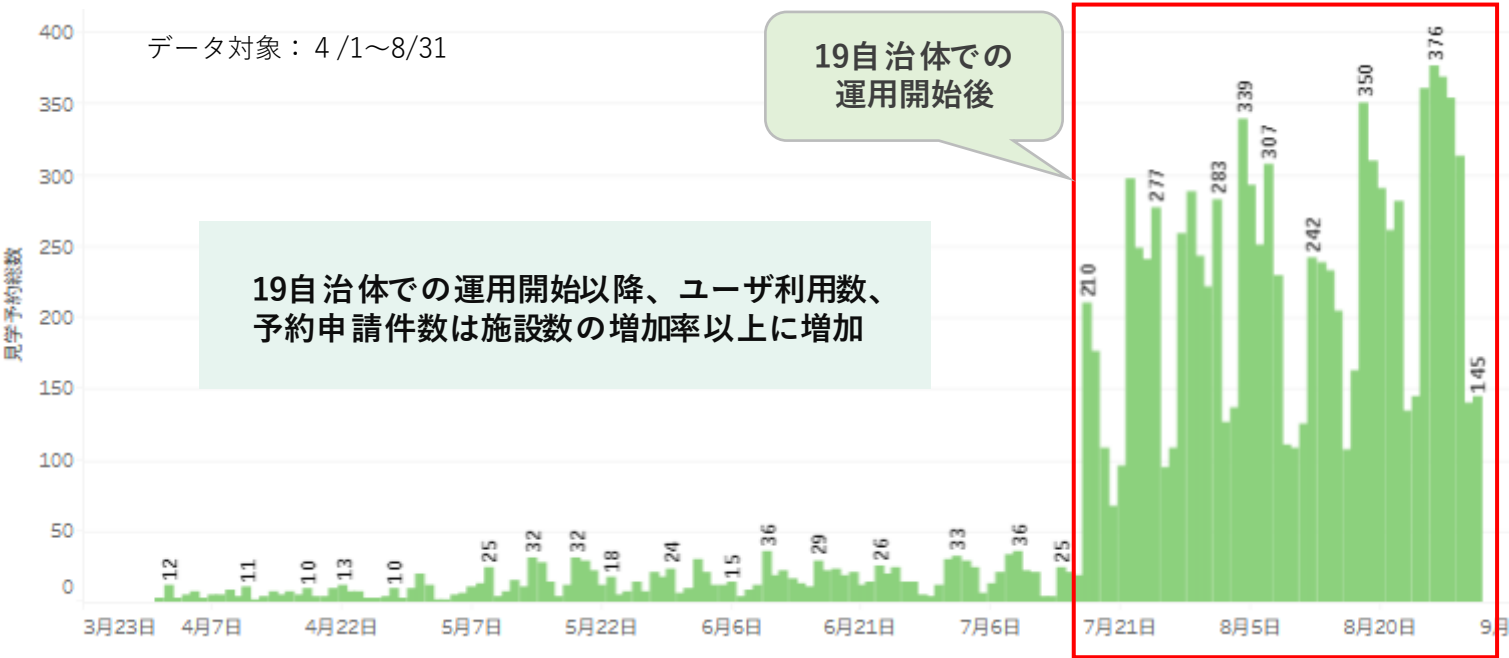
◆ユーザ利用数

4/1～ 7 /16 (3 自治体)	7 /17～ 8 /31 (19自治体)	合計
925人 (平均 9 人/日)	4,711人 (平均102人/日)	5,636人

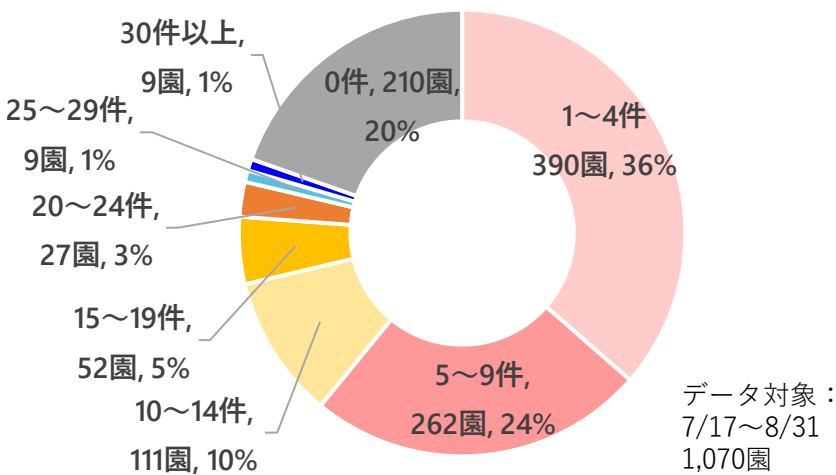
◆見学予約申請件数

4/1～ 7 /16 (3 自治体)	7 /17～ 8 /31 (19自治体)	合計
1,513件 (平均14件/日)	10,266件 (平均228件/日)	11,779件

◆見学予約申請件数の推移



◆予約申請件数別の施設数内訳



80%の保育施設が保活ワンストップシステムで
見学予約申請を受けている

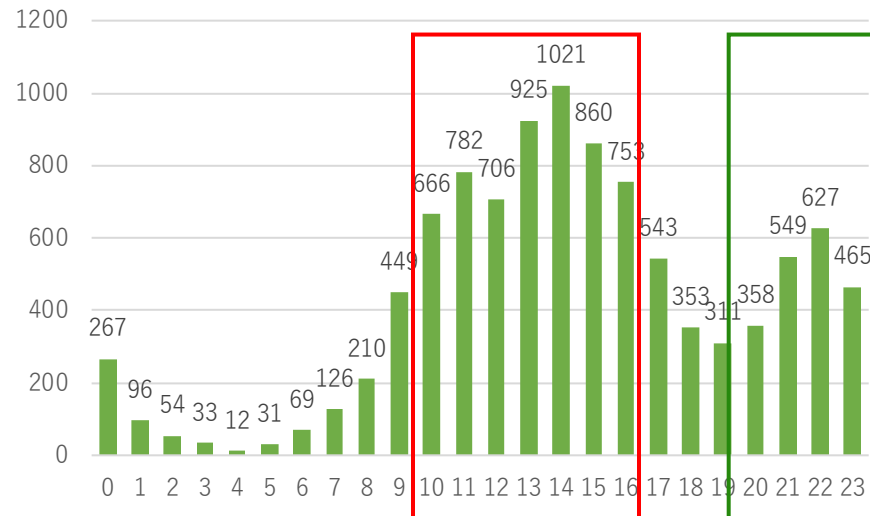
(2) 運用状況【見学予約申請の実績】

システム化により平日昼間の隙間時間の活用に加え、これまで受付時間外であった夜間帯や休日の申請ができる等、利便性の向上が確認できる

◆ 見学予約の受付分布

■ 受付時間別

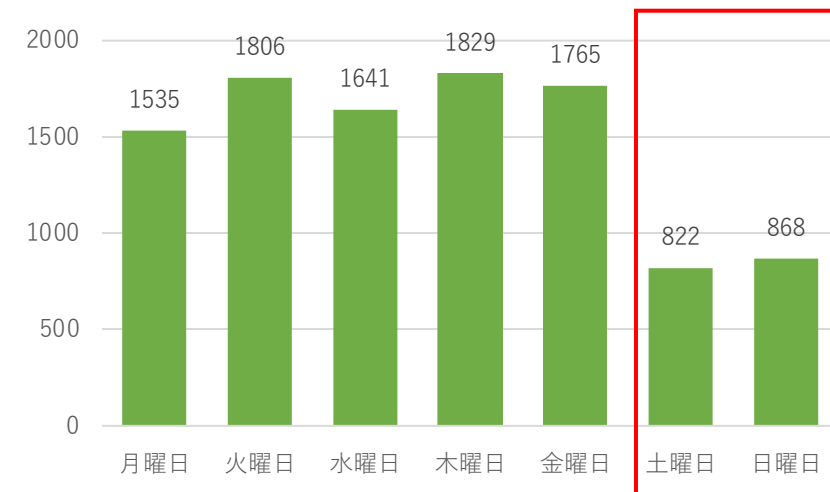
データ対象：7/17～8/31に申請された見学予約



- ・ 日中の10時～16時台の申請が多い
- ・ 夜間帯の20時～23時で全体の19%の申請がある

■ 受付曜日別

データ対象：7/17～8/31に申請された見学予約



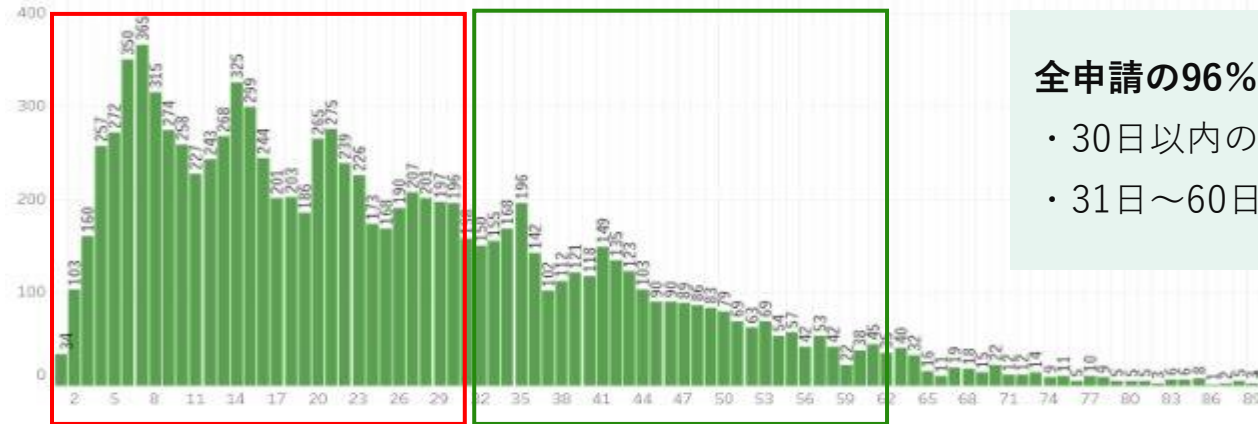
- ・ 平日の申請が多い
- ・ 休日にも全体の16%の申請がある

(2) 運用状況【見学予約申請の実績】

2ヶ月以上の期間で予約枠を設定することで保護者は希望するタイミングで見学予約をすることができる。
保育施設では保護者の申請から早い段階での審査がされている

◆申請から見学日までの期間分布 (保護者は何日後の見学予約を申し込んでいるか)

データ対象：7/17～8/31に申請された見学予約

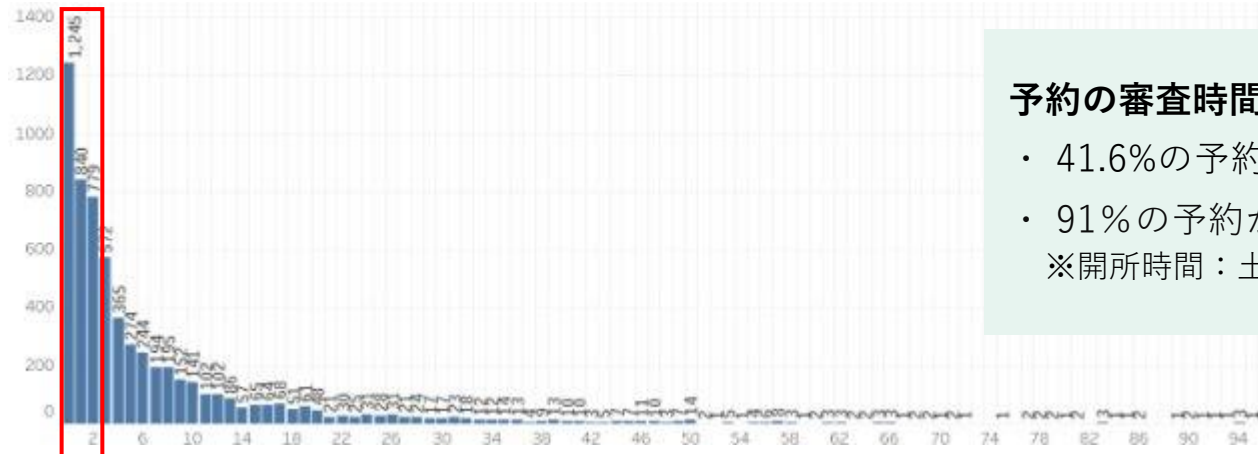


全申請の96%が60日以内の見学予約を希望

- ・ 30日以内の予約 = 全体の67%
- ・ 31日～60日の予約 = 全体の29%

◆見学予約の審査時間分布 (保育施設が見学予約の審査にどの程度の時間に対応しているか)

データ対象：7/17～8/31に申請された見学予約 ※自動承認機能OFF



予約の審査時間 = 平均8.7時間

- ・ 41.6%の予約が3時間以内に審査されている
 - ・ 91%の予約が開所時間の24時間以内で審査完了している
- ※開所時間：土日祝を除いた7:00～19:00

(2) 運用状況【保育施設アンケート 1 / 3】

○アンケート実施概要

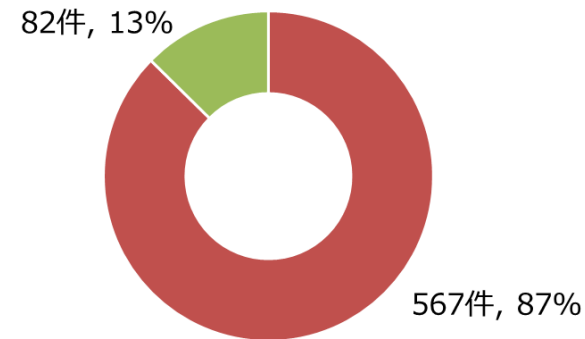
実施期間 8月12日（水）～8月29日（金）

実施方法 Webアンケート

対象 保活ワンストッププロジェクトに参加する保育施設1,070園

有効回答数 649

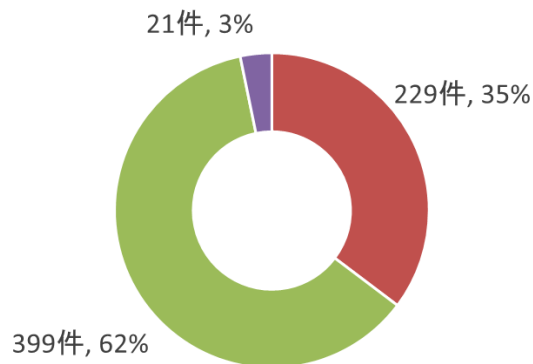
○保活ワンストップ システムで見学予約受付をしたか



■ はい ■ いいえ（オンラインでの申し込みがなかった）

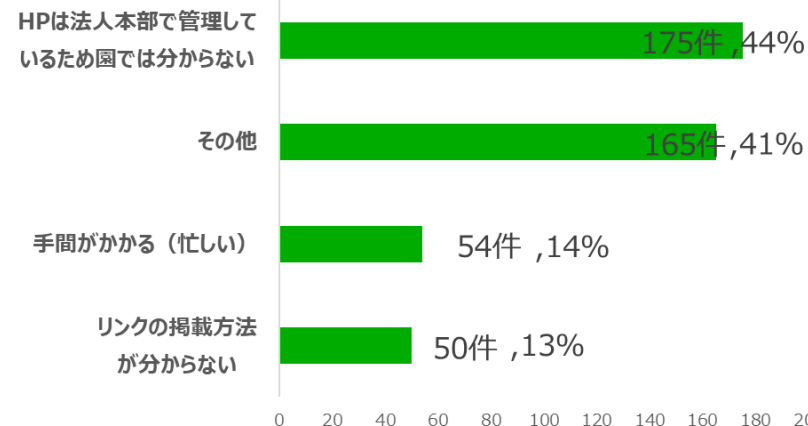
・ 回答した園のうち約9割は保活ワンストップシステムで見学予約を受け付けたことがある

○園のHPに、保活ワンストップを提供する3つのサイトいずれかのリンクを掲載したか



■ 掲載した ■ 掲載していない ■ 園のホームページがない

○（「掲載していない」と答えた施設のみ） 掲載していない理由（複数選択可）



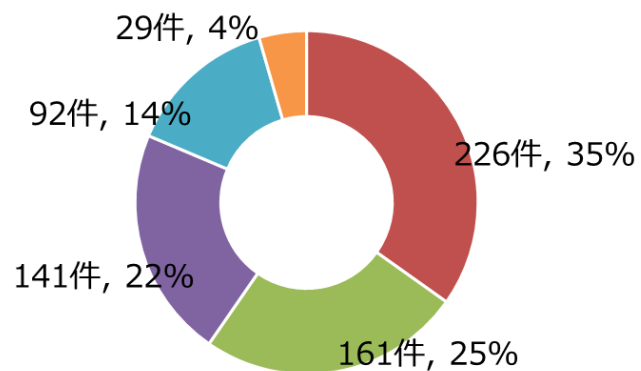
・ 園のHPに保活ワンストップのリンクを掲載している園は35%

・ 掲載していない理由は、HPを法人（自治体）で管理しているためが最多

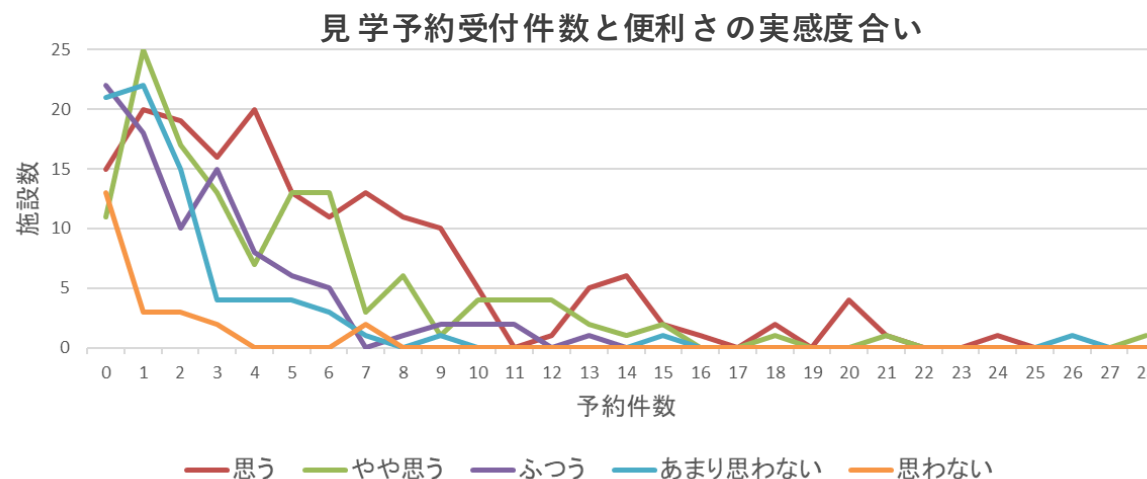
・ その他の理由としては、「掲載する認識がなかった」「園独自の予約システムを既に掲載しているから」など

(2) 運用状況【保育施設アンケート 2/3】

○ システムでの予約受付は、電話受付の場合と比較して便利になったと思うか（なると思うか）



■ 思う ■ やや思う ■ ふつう ■ あまり思わない ■ 思わない



- ・ 回答した施設の60%以上が「思う」「やや思う」と回答
- ・ 保活ワンストップシステムでの見学予約受付件数を分析すると、件数が多い施設ほど便利さを実感している傾向

○ 「思う」「やや思う」の理由

- ・ 保育中や他業務中に電話対応で作業が中断されることがなくなった
- ・ 予約確認・承認作業を自分の都合に合わせて行えるようになった
- ・ 保護者が直接情報を入力することで、電話対応時に起こりがちだった名前や連絡先の「聞き間違い」がなくなった
- ・ 予約時に保護者からの質問事項を確認できるため、見学当日の準備がしやすくなった



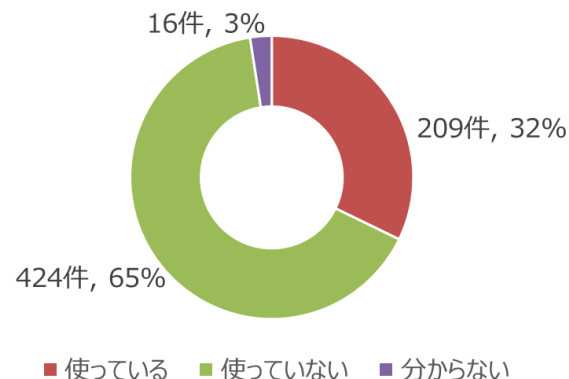
○ 「あまり思わない」「思わない」の理由

- ・ まだシステムでの受付件数が少ないため、わからない
- ・ 見学希望者が少ない施設では、毎日システムを確認する手間が、たまにかかってくる電話対応の手間を上回る
- ・ 保護者視点からは良いサービスだと思うが、保育園としては入力する作業と確認する作業が増えた

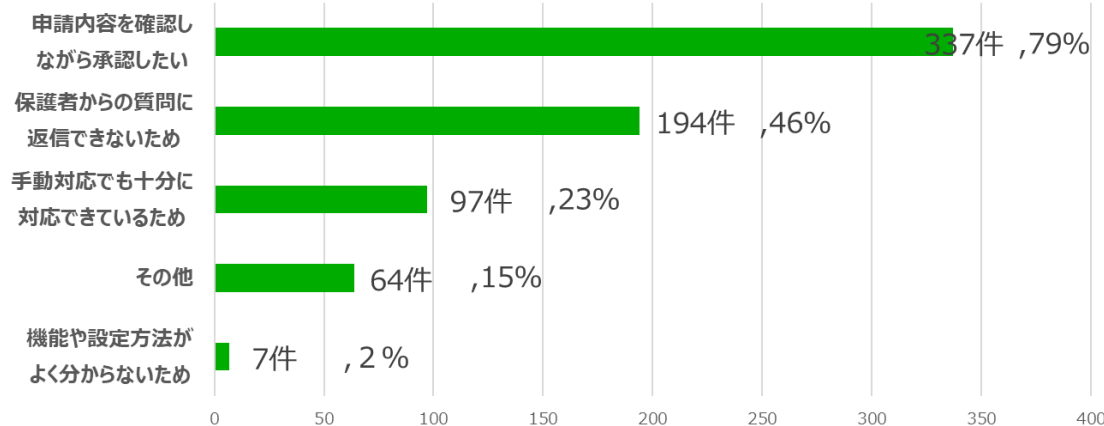


(2) 運用状況【保育施設アンケート 3 / 3】

○ 見学予約の「自動承認機能」は使っているか

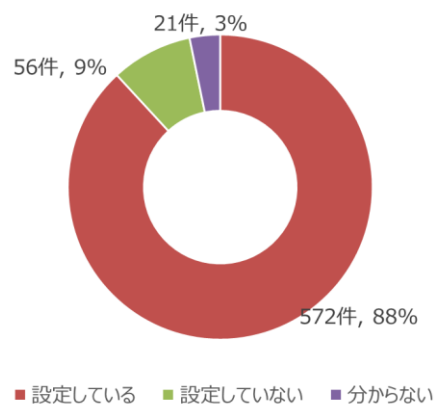


○ (「使っていない」と答えた施設のみ)
「自動承認機能」を使っていない理由 (複数選択可)

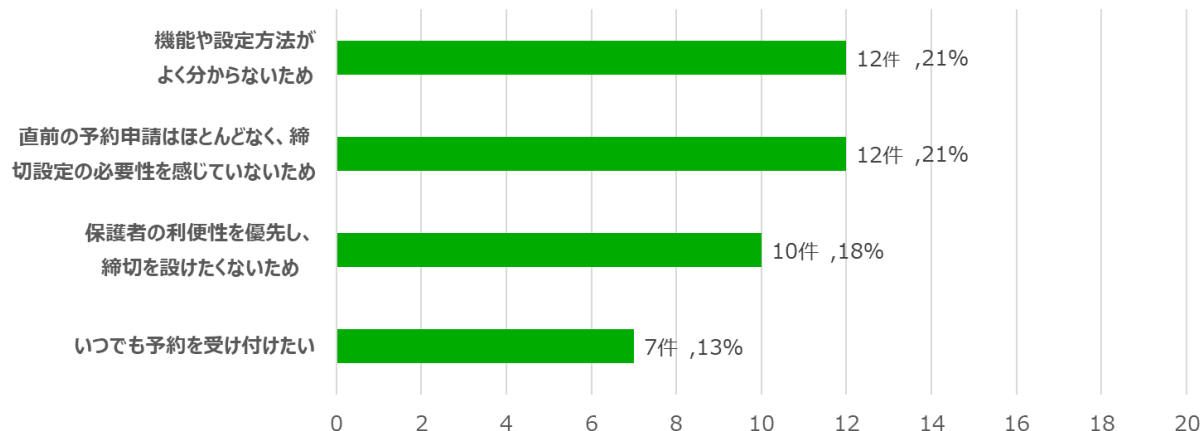


- ・ 自動承認機能は、回答した施設のうち32%が利用
- ・ 65%は使用しておらず、理由として「申請内容を確認したい」が最多
- ・ その他は「園独自システムと併用しているため、保活ワンストップサービスのみを自動承認できない」など

○ 「見学予約の受付期限」(設定した時間前までを受け付ける)を設定しているか



○ (「設定していない」と答えた施設のみ)
「見学予約の受付期限」を設定していない理由 (複数選択可)



- ・ 見学予約受付期限の設定機能は、回答した施設のうち約9割が利用
- ・ 約1割は使用しておらず、理由として「設定方法がわからない」「直前の予約申請がほとんどない」など

(2) 運用状況【自治体アンケート 1 / 2】

○ アンケート実施概要

実施期間 8月12日（水）～8月29日（金）

実施方法 Webアンケート

対象 保活ワンストッププロジェクトの連携自治体（19自治体）

有効回答数 19

○ どのような広報面の支援があれば広報活動が行いやすいか

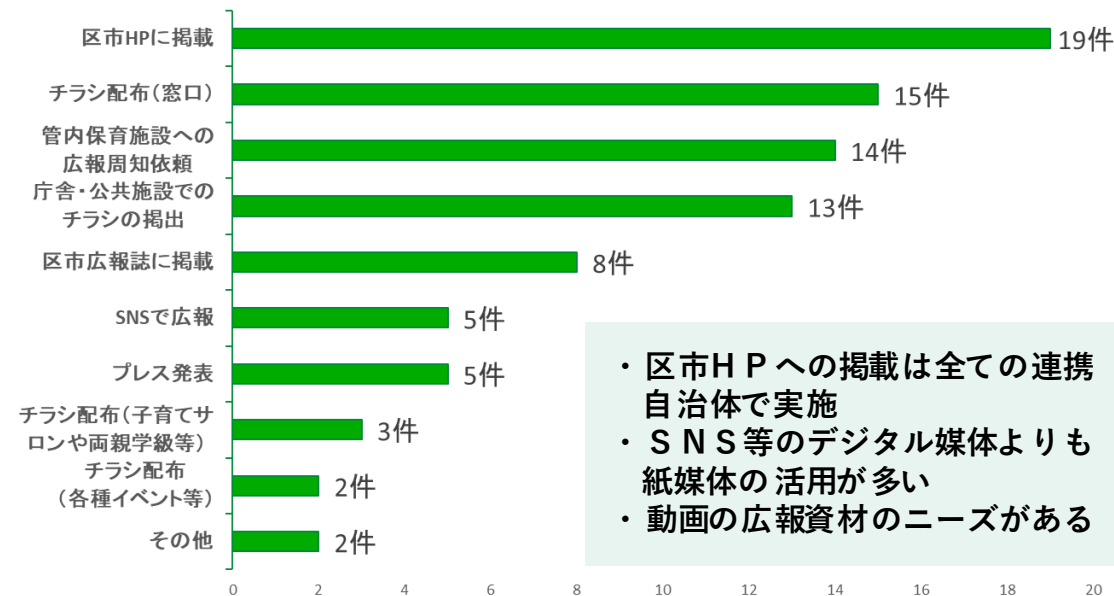
- ・操作がイメージできる動画、ショート動画（6件）
- ・公共交通機関、街角ビジョンでの広報（3件）
- ・自治体の子育て関連部署での広報（2件）

○ 本サービスについての自治体からのご意見



- ・時間の制約なく予約できる点が、メリットとして忙しい保護者に受け入れられている
- ・独自の予約システムがなかった施設でも、保護者がオンラインで手軽に予約できる
- ・システムの導入で、これまで把握していなかった園見学の利用実績が数値として見える
- ・サポートデスクが整備されており、保護者から本サービスに関する問合せがほとんどない

○ 保活ワンストップサービスに係る広報で行ったこと（複数回答可）



- ・保育施設が予約申請に対して承認を行わないと自治体が個別に施設へ催促する必要がある。週明けなどは未承認件数が多く、自治体職員の業務負担
- ・数か月先の見学予約については、すぐには保育園に承認を促しにくい
- ・「ここdeサーチ」と「保活情報連携基盤」の両方で承認作業が必要となっており、業務負担が大きい。連携を望む

(2) 運用状況【自治体アンケート 2 / 2】

○ 本サービスについて保護者から聞いている声



- 電話をかける必要がなく、見学ハードルが下がった
- オンラインで予約ができるようになり負担が減った
- 保育施設の情報と空き状況を一覧で確認できる点が便利
- 全ての園が対象になると良い



- 現状では1施設ずつしか予約できず、複数の施設を見学したい場合に手間がかかる。例えば、希望日時などを指定して、複数施設を一括で予約できるとより良いと思う
- キャンセルの方法など、システムの具体的な操作方法が分からない

○ 本サービスについて保育施設から聞いている声



- これまで対応していた電話での予約受付業務がなくなり、便利になったと感じる
- 自動承認機能が追加されたことで、保護者を待たせることがなくなった
- システムに入力してもらうので、聞き取りミス等が減った
- サポートセンターへの問い合わせで、操作に関して不明点を解消できた



- 施設情報をここdeサーチから定期的に情報連携されれば保育施設側の負担が軽減されるため検討いただきたい
- かなり先の見学希望日を予約された場合、職員のシフトが未定なためすぐに承認するのが難しい
- 保護者に周知されていない状況だと、見学予約の流入経路が、電話とシステムの2つになり煩雑

(3) 意見交換

以下の論点その他について、ご意見や、使ってみたご感想についてご発言をお願いします。

- 保護者への広報周知について
- 改善した機能の活用について
- その他

5 効果測定の実施について

効果測定の実施概要

1. 保護者向け効果測定の実施概要

令和7年10月～令和8年2月まで、体験会とWebアンケートにて実施予定

	体験会	Webアンケート
対象者	令和8年度4月入所申請提出のため窓口に来所した保護者等	保活ワンストップサービスの予約機能を利用して保育施設に見学予約し、来園した保護者
実施方法	・スマホで保活ワンストップサービスを体験（情報収集・見学予約・入所申請ページへの移行） ・対面によりアンケートを実施して回答いただく	・参加保育施設にて見学を終えた保護者にWebアンケートのQRコードを案内して回答いただく ※アンケートの冒頭で見学予約方法を質問し、保活ワンストップ利用者を捕捉する
実施期間	令和7年10月～12月上旬	令和7年10月～令和8年2月
実施場所	連携自治体の15区市（各1営業日程度） ※含まれない4区市では新規機能のユーザーテストを実施予定	保護者が自身の端末からWebアンケートにアクセスして回答

効果測定の実施概要

保護者向け測定項目（１／２）

項目	詳細項目	設問	基本目標値
保活に関する満足度	各工程ごとの満足度（保活情報収集・施設見学予約・入所申請）		5段階評価の3以上が全回答者の70%以上
	保活情報※収集 ※入園に関する手続情報等や保育園の施設情報	Q1 保活ワンストップで保活情報を収集してみての満足度を教えてください	
		Q2 あなたの欲しかった保活情報は得られたと思いますか	
		Q3 複数の保育園の必要な保活情報をまとめて得ることができたと思いますか	
	施設見学予約	Q4 保活ワンストップで見学予約をしてみteの満足度を教えてください	
		Q5 電話予約よりも効率が良いと思いますか	
		Q6 見学日時の検討や園に伝えたいことの連絡などがしやすいと思いますか	
		Q7 操作がわかりやすいと思いますか	
	入所申請	Q8 保活ワンストップから自治体の入所申請ページに移行できると、入所申請ページを検索してアクセスするよりも簡単だと思いますか	
	各工程を同一サイト上でワンストップで実施できることに対する満足度		
保活体験全体に対する満足度		Q10 保活ワンストップで保活情報の収集・見学予約・入所申請ページへの移行までをやってみて、全体としての満足度を教えてください	

効果測定の実施概要

保護者向け測定項目（2 / 2）

項目	詳細項目	設問	基本目標値
保活の 所要 時間	各工程の所要時間	Q11 保活ワンストップを活用したとき、保活全体にどのくらいの時間がかかりましたか	合計15時間 以下
	保活情報収集	Q12 保活ワンストップを活用して入園に関する手続情報等を収集するのに、どのくらいの時間がかかりましたか	合計4時間 以下
		Q13 保活ワンストップを活用して保育園の施設情報を収集するのに、1園あたりどのくらいの時間がかかりましたか	
	施設見学予約	Q14 保活ワンストップを活用して見学予約をするのに、1園あたりどのくらいの時間がかかりましたか	
	入所申請	—	
ワンストップ 活用度	保活情報収集・施設見学予約・入所申請ページへの移行の全てを保活ワンストップを利用して行った保護者の割合	Q15 保活情報収集・見学予約・入所申請ページへの移行の全てについて、保活ワンストップを活用しましたか	70%以上

効果測定の実施概要

2. 保育施設を対象とする効果測定の実施概要

令和8年2月頃に全ての参加保育施設を対象にWebアンケートにて実施予定

保育施設向け測定項目

項目	詳細項目	基本目標値
施設見学予約のオンライン申請率	施設見学予約のうち、保活ワンストップでの申請率	60%以上
オンライン施設見学予約の満足度	保活ワンストップでの施設見学予約に対する満足度	70%以上

3. 自治体を対象とする効果測定の実施概要

令和8年2月頃に全ての連携自治体を対象にWebアンケートにて実施予定

自治体向け測定項目

項目	詳細項目	基本目標値
入所申請のオンライン申請率	随時入所申請のうち、オンラインでの申請率	80%以上
入所申請のオンライン化に伴う作業時間の削減	入所申請のオンライン化に伴い、申請書のデータ入力が必要となることで削減される作業時間数	1件当たり 1分×申請数

6 新規機能の開発について

新規機能 – 実施概要

保活に関する手続きのうち、入所に関する相談や希望施設決定のための指数計算も負担との声がある
新たに以下の2つの機能を実装することで、更なる保護者負担の軽減及び利便性の向上につなげる

As is

To be

保活オンライン
相談機能

- 入所相談のために平日の開所時間中に、妊娠中や子連れの状態で自治体を訪問しなければならず、負担が大きい
- 自治体窓口のピーク時の混雑が負担

- 自治体への移動時間や窓口での待ち時間が減ることで、負担を軽減
- あらかじめ相談予約ができることで、予定が立てやすく、利便性も向上

指数シミュレー
ションシステム

- 自治体の資料を読んでも指数そのものの理解が難しく、自分の指数の試算が分かっているか分からず不安を感じている
- 希望施設の順位を決定するために必要な材料が足りない

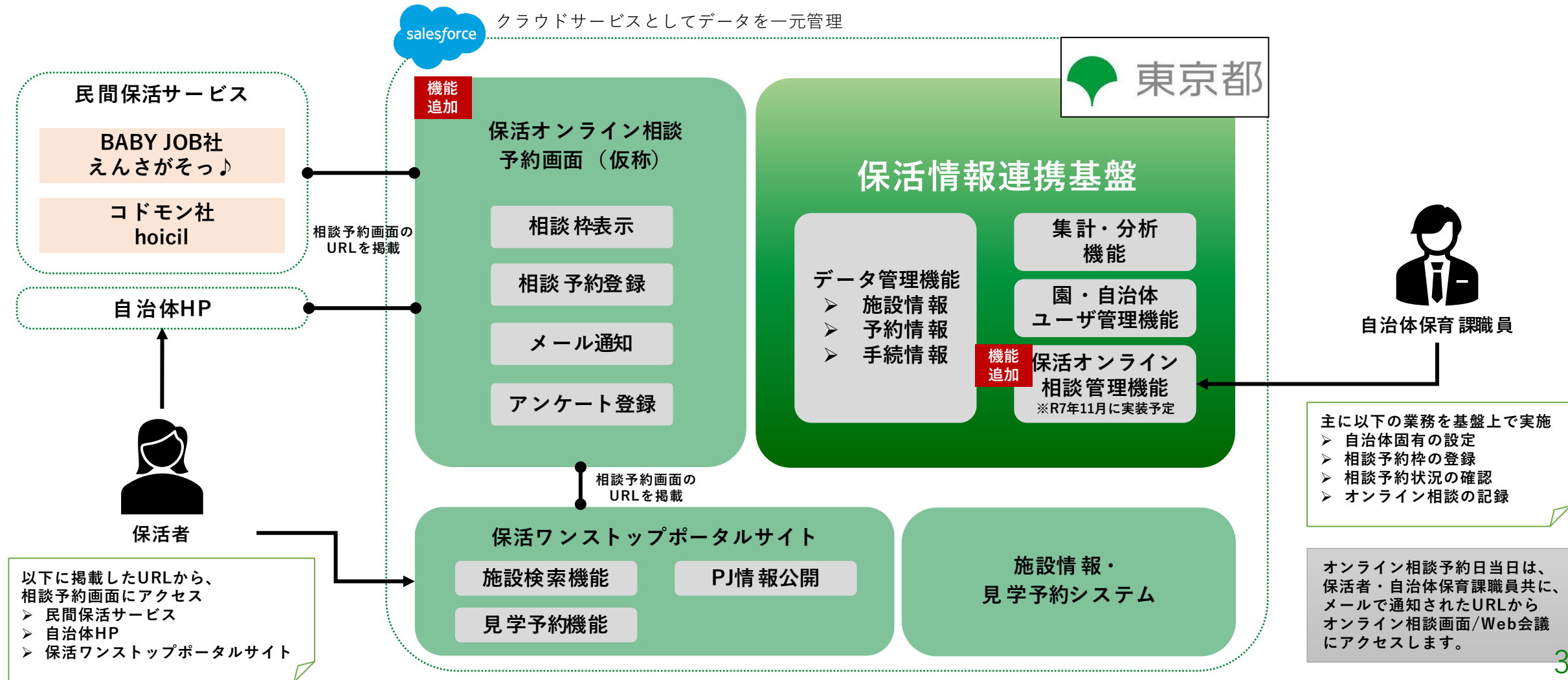
- 指数を完全に理解していなくても、簡単に試算（シミュレーション）ができ、不安感が軽減
- 前年度の入所最低指数をセットで公表することで、試算結果との比較が容易になり、希望施設の決定がスムーズ

※保活に関するアンケート（こどもDX推進協会）及び子育て分野（保活）におけるサービスデザイン導入に係る調査研究報告書より抜粋

保活オンライン相談機能 – システム概要

保活オンライン相談機能は、保活情報連携基盤上に新規実装する

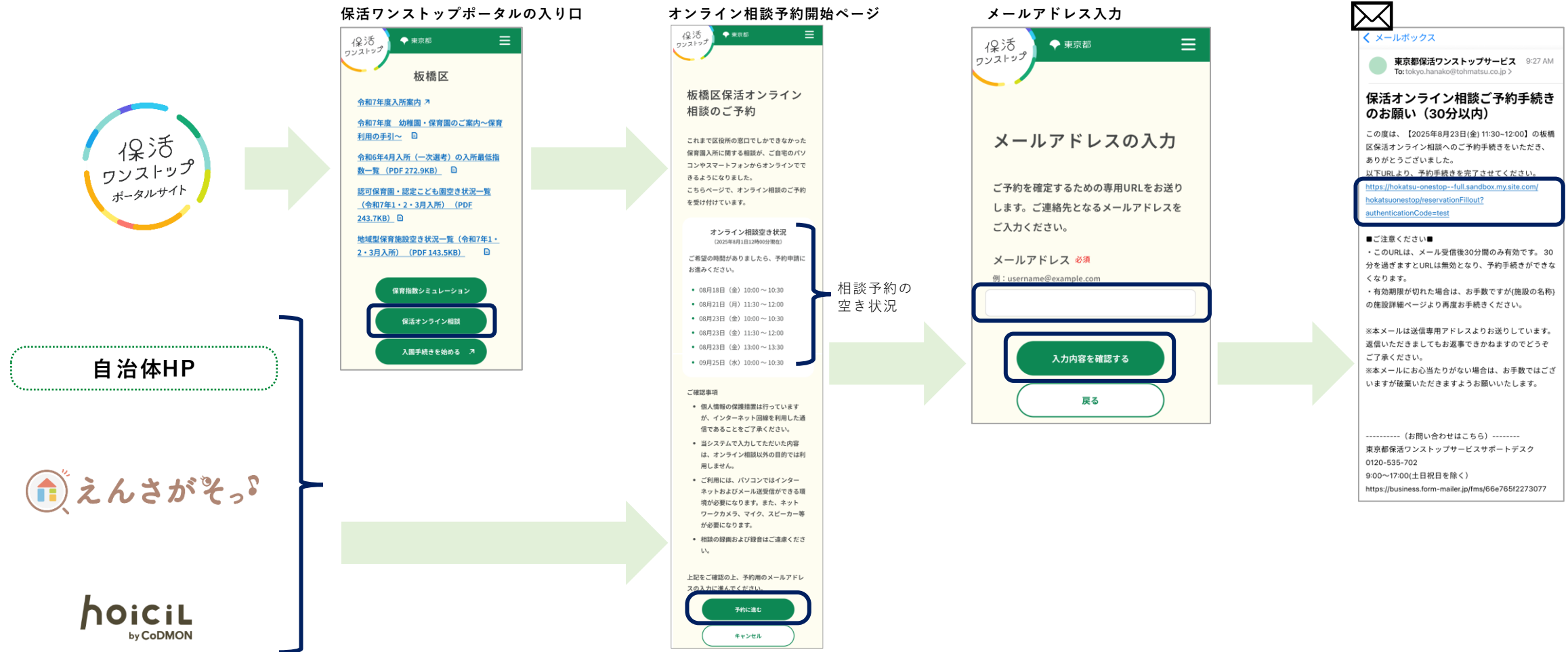
保活者は、保活オンライン相談予約画面に、自治体ごとのURLを介してアクセスすることができる



保活オンライン相談機能 – 保護者利用イメージ（1/3）

保活オンライン相談を行う保護者の利用イメージについて紹介する

① アクセス～メールアドレス入力



※デザインや文言等はイメージであり、今後変更の可能性があります

保活オンライン相談機能 – 保護者利用イメージ（2 / 3）

保活オンライン相談を行う保護者の利用イメージについて紹介する

② 予約フォーム～仮予約

予約フォーム

板橋区保活オンライン相談
予約フォーム
相談者情報の入力

ご希望日時

☐ 空きあり

2025年8月

日 月 火 水 木 金 土

30 31 1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 1 2 3

相談者の情報

氏名 必須

姓・名の順にご入力ください

姓 名

フリガナ 必須

セイ・メイの順にご入力ください

セイ メイ

電話番号 必須

00-0000-0000のようにハイフンを入れてください

お住まいの地域

例：新北区西新宿

入園希望のお子様の生年月（1人目） 必須

2024 年 01 月

入園希望のお子様の生年月（2人目） 必須

2024 年 01 月 削除する

もう1人追加する

入園希望時期 必須

2024 年 01 月

相談のテーマ

当てはまるものすべてをお選びください。

☐ 保育園入所に関する一般的な質問

☐ 支援が必要なお子さんの入所に関する質問

☐ 在園に関する質問（在園児がいる場合）

☐ 区内の、保育園入所の書類提出

☐ 区外の、保育園入所の書類提出

☐ その他

詳しい相談内容

具体的なお相談内容をご記入ください。

☐ 個人情報保護方針に同意する

入力内容を確認する

予約フォームの入力項目

- ・ 希望日時 必須 （日にちをクリックすると時間が表示される） →
- ・ 氏名 必須
- ・ フリガナ 必須
- ・ 電話番号 必須
- ・ お住いの地域
- ・ 入園希望のお子様の生年月（1人目） 必須
- ・ 入園希望のお子様の生年月（2人目）
- ・ 入園希望時期（年月） 必須
- ・ 相談のテーマ
- ・ 詳しい相談内容

日にちをクリック後

ご希望日時

☐ 空きあり

2025年8月

日 月 火 水 木 金 土

30 31 1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 1 2 3

23日（水）

10:00-10:30 11:30-12:00 13:00-13:30

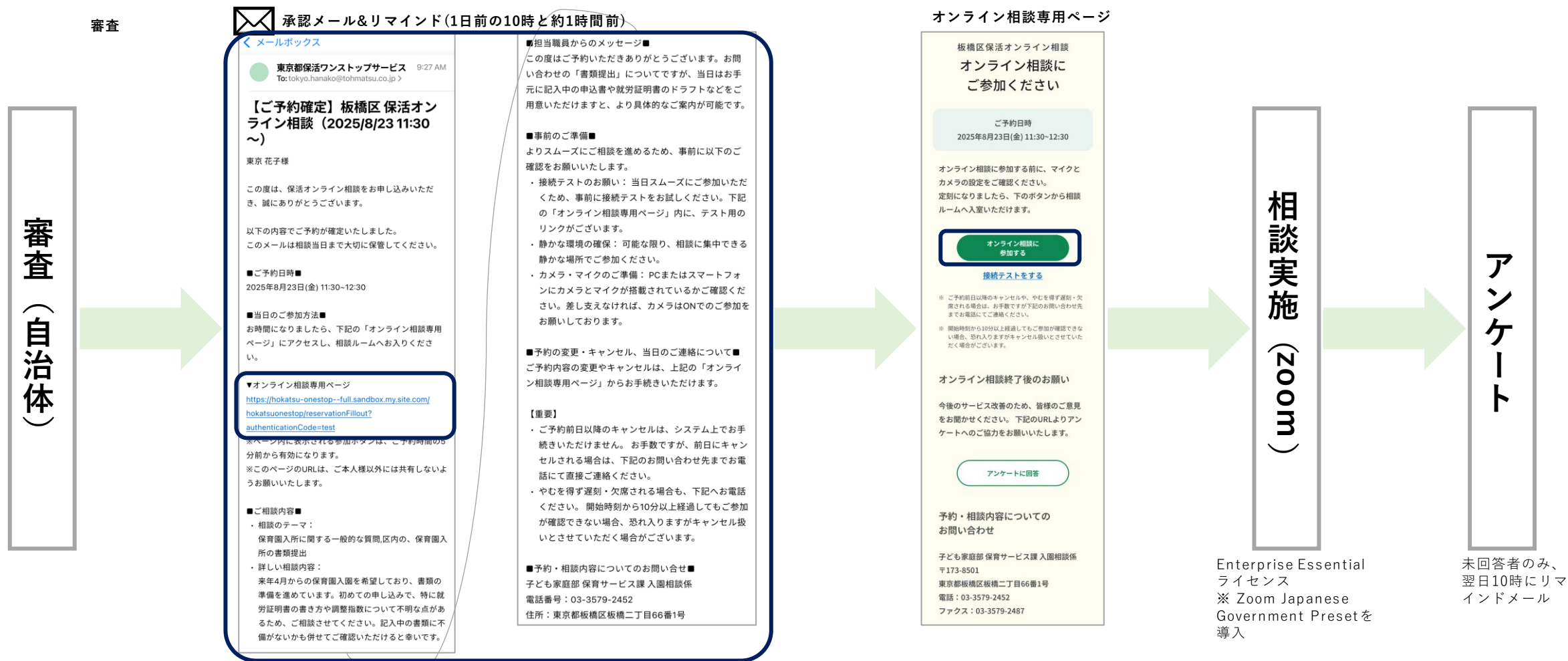
14:15-14:45 15:30-16:00

仮予約

保活オンライン相談機能 – 保護者利用イメージ（3 / 3）

保活オンライン相談を行う保護者の利用イメージについて紹介する

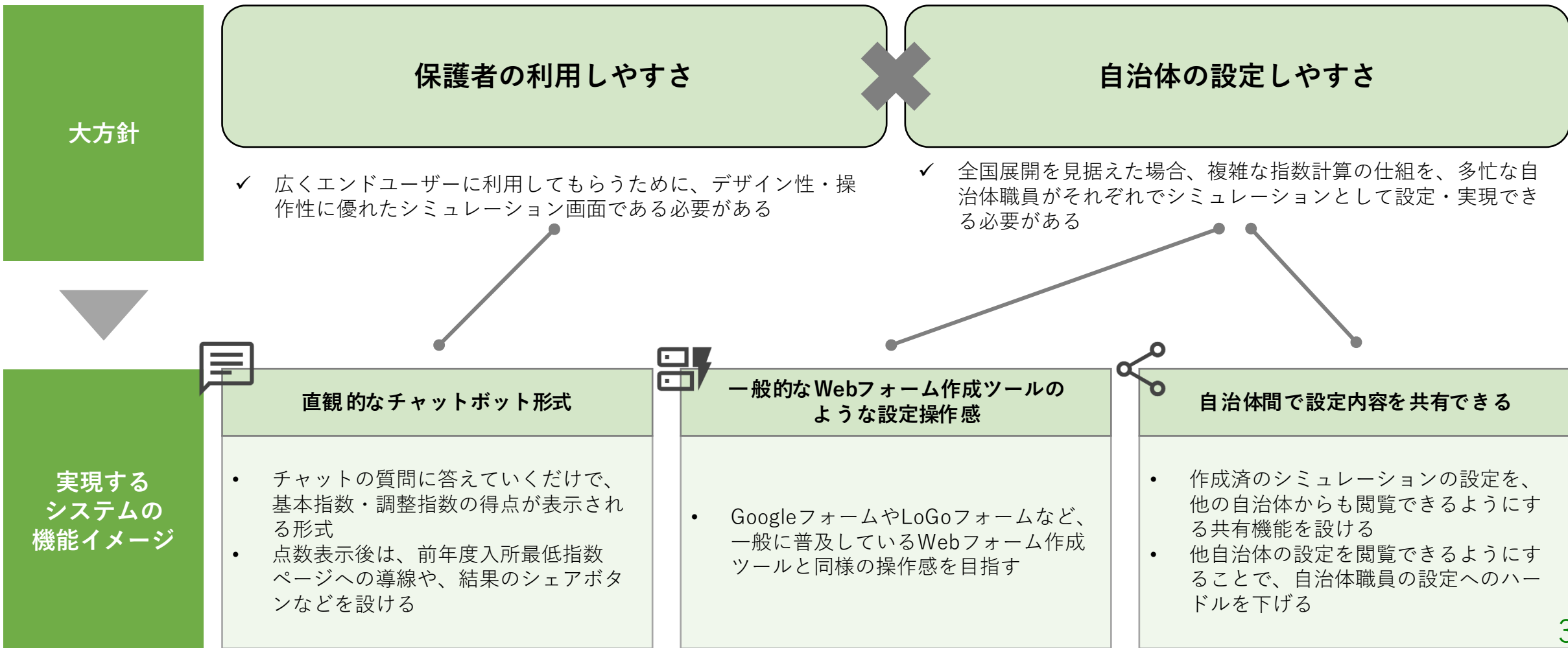
③ 審査～承認～（リマインド）～相談実施～アンケート



※デザインや文言等はイメージであり、今後変更の可能性があります

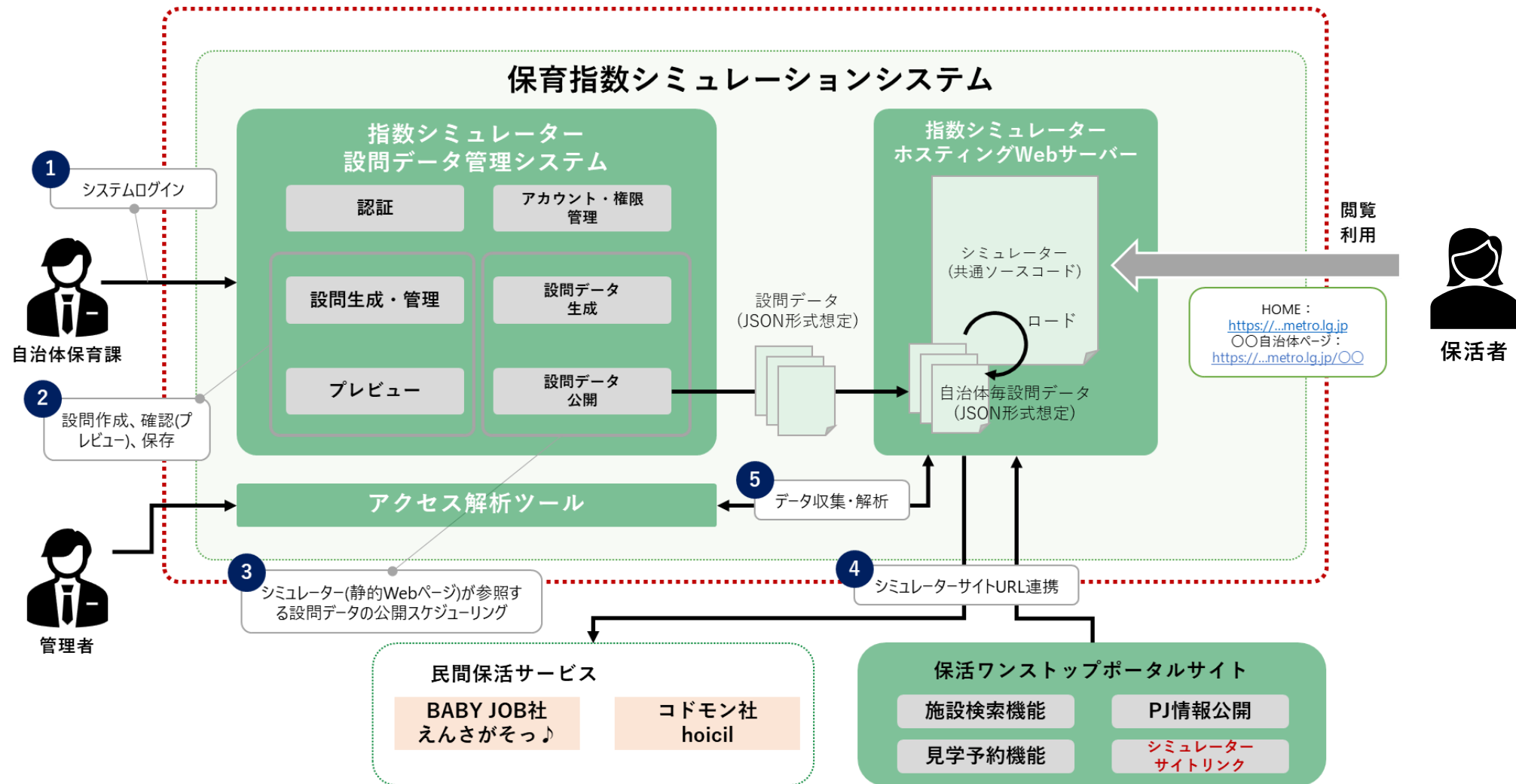
指数シミュレーションシステム – 開発方針

指数シミュレーションシステムの開発では、今後の全国展開を見据えて、
保護者の利用しやすさと、自治体の設定しやすさの2点を大方針として掲げ、機能開発を進める



指数シミュレーションシステム－システム概要

自治体職員が設問を設定・登録・管理を行う仕組みを作成し、
保育指数シミュレーションが可能なページをWebサーバーで公開できる仕組みを構築する



新機能開発 - スケジュール

保活オンライン相談機能は11月のリリース、指数シミュレーションシステムは1月のリリースを目指し、設計・開発等を進めている

